様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	572	課コード	1703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	保育内容の充実	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	私立保育園・管外保育園への保育実施委託	②部課名	子ども部・保育課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成２０年度　～		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　0.7 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0 千円	当該(開始)年度	（当　初）1,121,836 千円　（うち人件費　6,510 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33103	重点プロジェクトへの位置づけ 重点４	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無　部門別計画への位置づけ（計画名）第３次保健福祉総合計画
(2)目的	施策目的・展開方向	多様な保育ニーズに対応するため、保育園や学童保育室をはじめとした保育サービスの供給体制の強化と質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てを共に支える体制を整備します。		事業目的	市内の私立保育園及び所管区域外の保育園での児童の保育の実施に係る最低基準を維持する費用について、国の定める保育単価にもとづき委託料を支弁する。
(3)事業内容	内　容	児童福祉法第24条の規定により、市内の私立保育園（１３園）及び所管区域外の保育園に保育を委託する児童について、児童福祉法第51条第4号及び第4号の2に規定する保育の実施に要する保育費用について、保育の実施委託契約を結び国の定める保育単価により委託料を算定し各園に支払う。		当該年度執行計画	毎月、市内私立保育園（１３園）、所管区域外保育園に対して、国基準の保育の実施に係る委託経費を支弁する。
				当該年度活動結果指標	私立保育園入園数（定員１２３０人）　単位：人　想定値 1,230　実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	保育に欠ける児童の入園申込に対し、民間保育園の協力を得て、全ての児童を入園可能とし、待機児童ゼロの維持を継続する。	直接	保育に欠ける児童の申込に対する入園率	%	100	100
３年後	保育に欠ける児童の入園申込に対し、民間保育園の協力を得て、全ての児童を入園可能とし、待機児童ゼロの維持を継続する。	直接	保育に欠ける児童の申込に対する入園率	%	0	100
最終(概ね５年後)	保育に欠ける児童の入園申込に対し、民間保育園の協力を得て、全ての児童を入園可能とし、待機児童ゼロの維持を継続する。	直接	保育に欠ける児童の申込に対する入園率	%	0	100

(7)事業実施上の課題と対応	低年齢児童の受け入れの推進。私立保育園の理解・協力を促す。	代替案検討	○有　●無

		平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
		政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)
(8)施行事項	実施内容 費　用	市内13私立保育園と所管区域外の保育園の委託料	1,049,661	市内13私立保育園と所管区域外の保育園の委託料	1,062,348		市内14私立保育園と所管区外の保育園の委託料	1,115,326	市内14私立保育園と所管区外の保育園の委託料	1,115,326
				＊（仮称）天王台さくら保育園	52,978					
	予算(済)額	合　計	1,049,661	合　計	1,115,326		合　計	1,115,326	合　計	1,115,326
(9)財源内訳	国庫支出金	補助率 0 %	259,433	補助率 50 %	272,479		補助率 50 %	272,479	補助率 50 %	272,479
	県支出金	補助率 0 %	129,716	補助率 25 %	136,239		補助率 25 %	136,239	補助率 25 %	136,239
	起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
	一般財源		355,441		380,189			380,189		380,189
	その他の財源	□特会 ■受益 □債務 □基金 ■その他	305,071	□特会 ■受益 □債務 □基金 ■その他	326,419		□特会 ■受益 □債務 □基金 ■その他	326,419	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	326,419
(10)人件費等	換算人数(人)		0.7		0.7			0.5		0
	正職員人件費		6,510		6,510			4,650		0
	嘱託職員報酬額		0		0			0		0
	臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)			1,056,171		1,121,836			1,119,976		1,115,326
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）		918.41千円／人		912.06千円／人						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	少子化とはいえ、要保育児童の増加は顕著であり、待機児童ゼロの維持推進と、子育て支援策の充実・向上が求められている。なかでも保育園入園待機児童ゼロは、国においても重要な施策となっている。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
必要性	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		●②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
		＜その他の内容＞ 該当なし				
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
		＜その他の内容＞ 該当なし				
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%) 100 目標値(b)(%) 100 目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(%) 達成率(%)(f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 1,121,836 事業費削減額(d)(千円) △65,665 事業費削減率(%) △6.22	実施予定の対策 ■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 ■⑥受益者負担 □⑦その他 ＜削減の内容＞	実施状況 実績値(g)(千円) 対事業費(%)(g/c)×100 ＜超過理由等＞	○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e) 0.01 単位 % 費用単位 10万円	計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：(目標値－現況値)×費用単位／事業費	達成状況 実績値(h) 対目標値(%)(h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向